

# 令和7年度 第1回リフレクション会議について (令和7年4月25日)

## 講師

- 熊本大学大学院教育学研究科 准教授 苫野 一徳 先生
- 一般社団法人 School Transformation Networking 代表理事 山口 裕也 先生

## 協議内容

- 本質観取『よい教師とは』

## 内容

本年度最初の ONE STEPpers リフレクション会議を開催しました。

この日は、芦屋市教育委員会教育アドバイザーである苫野一徳先生(熊本大学大学院教育学研究科 准教授)をファシリテーターとしてお迎えし、「よい教師とは」というテーマで、本質観取に取り組みました。

本質観取とは、対話を通して物事の本質に迫る探究的な営みです。

参加者は、自らの経験や日々の実践を振り返りながら、一人ひとりの思いを丁寧に言葉にし、仲間と共有し合いました。

「さまざまなエピソードを出し合う」「共通するキーワードを見つける」「そこから導かれる本質を整理する」という探究のプロセスを、苫野先生のリードのもとで積み重ねました。

議論の中で「子ども中心」「寄り添う」「一人ひとりを尊重する」といったキーワードが浮かび上がってきました。参加者一人ひとりが心に残る教師像を見つめ直す機会となりました。

対話を通して見えてきたのは、知識や技術以上に、子どもたちと向き合い、温かな信頼関係を築くことの大切さです。個を尊重しながらも、集団の中で共に育ち合う場をつくるのが、「よい教師」の本質であるという共通認識が育まれました。

参加者からは、「自分の思いを整理し、言葉にすることで大切にしたい軸が見えた」「他の人の経験に触れて、自分にはない視点を得られた」といった声が寄せられました。

ONE STEPpers は、こうした探究的な対話を大切にしながら、今年度もそれぞれが「よい教師像」を実践の中で育み、共に成長していくことを目指していきます。

